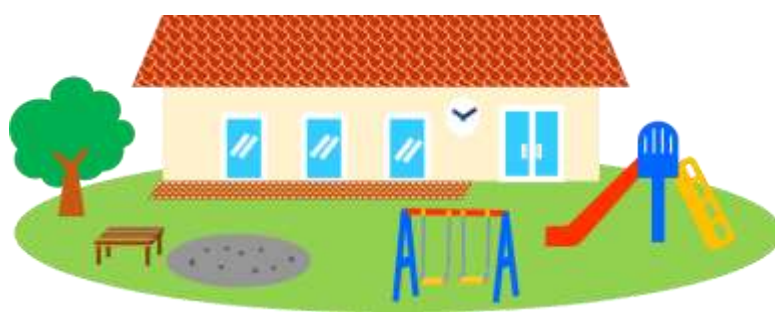


松本市内の公立・私立 保育園・幼稚園・認定こども園における

Ver.1

保育環境まつもと指標

～保育・幼児教育のより良い保育環境をめざして～



松本市こども部保育課



目次

- 1 背景
- 2 目的
- 3 観察のポイント
- 4 観察項目
- 5 観察の方法
- 6 フィードバックについて
- 7 各様式
- 8 松本市保育・幼児教育環境の評価指標
検討会議委員名簿

保育環境まつもと指標

1 背景

松本市は、公立・私立や施設の種類の違いを問わず、どの子どもに対しても質の高い保育と幼児教育の提供を目指す方針を掲げて、「3歳未満児の心身の健全な発育・発達を促す教育」と「3歳児から就学前にかけて将来子どもたちが個性や能力を最大限発揮できる幼児教育」の推進を図ることとしました。

そこで、この方針の実現、施策の推進を図るため、令和3年6月に設置した、保育・幼児教育の専門者などで構成される松本市新たな保育・幼児教育のあり方に関する専門者会議に、保育・幼児教育の施策や構想について諮問し、令和3年12月に「松本市新たな保育・幼児教育の在り方に関する提言書」がまとめられました。この提言書における様々な提言の一つとして、「松本市独自の保育環境を評価するスケールの導入」が提言されました。

この提言を受け、令和4年9月から公立・私立の保育園・幼稚園・認定こども園の施設の種別を超えた多様な委員に参加いただき、松本市保育・幼児教育環境の評価指標検討会議での検討を重ねてきました。現在、松本市内の保育・幼児教育施設は、およそ57%が市立の保育園、幼稚園、43%が私立・国立の保育園、幼稚園、認定こども園であり、松本市全体の保育の質の向上を図るためには更なる公私の連携が求められていることから、どの施設にも「共通のものさし」として活用することができる「保育環境まつもと指標」を策定しました。

2 目的

保育環境とは、保育園のみならず、幼稚園、認定こども園等、すべての園の中で子どもたちが関わるすべての人・物・場所・事象のことを指し、子どもたちは環境に働きかけ、環境からの働きかけを受けて成長・発達していきます。つまり、子どもの成長にふさわしい保育環境を整えることは、保育・幼児教育の質を上げ、子どもたちの生活や経験を豊かにすることにつながります。

園児を取り巻く保育環境に視点を置き、物的環境及び人的環境を公立・私立の保育園、幼稚園、認定こども園等の職員が共同しながら、指標を活用することで客観的、総合的に評価を行います。

評価の過程や結果を受け、それぞれの立場から、保育環境の優れている点や課題を明らかにすることで、評価する側と評価される側の双方にとって、気付きや学びの機会となり、相互理解と公私の連携を深めること、また、各園の課題を改善することで、松本市の保育・幼児教育を行うすべての施設において、更なる保育・幼児教育の質の向上を図ることを目的としています。

3 観察・評価のポイント

- 1 指標に基づき評価するとともに、園の独自性を考慮した評価を行います。
- 2 観察者は、広い視野で客観的に観察し、園の良さ、独自性、努力や工夫している部分を含めて評価します。自園との違いを否定するものではありません。
- 3 観察園は、観察結果を踏まえ、物的環境及び人的環境の改善につなげるとともに、自園の良さを再認識し、自信をもって今後の保育・幼児教育に活かします。
- 4 観察者は、他園の観察を通して気づきや学んだことを、自園の保育・幼児教育の改善に活かします。
- 5 まとめの会の講評やフィードバックを受け、園全体での話し合い等を通して、施設長、保育士、教諭それぞれの振り返りを行い、自己評価では気付かなかった園の良さや課題について学び合いや話し合いの場を設け、組織的、継続的に保育の質の向上に向けた取り組みを行います。指摘された点すべてを改善しなくてはならないというものではありませんが、緊急度等を踏まえ優先順位をつけ、保育環境の改善を行います。
- 6 自園の保育環境について、指標を活用して自己評価することで、気づきを自園の保育・幼児教育の改善に活かすことができます。

4 観察項目

保育環境とは、子どもを取り巻く人や物、自然、社会、時間、空間すなわち人的環境、物的環境、自然・社会環境などです。子どもは環境の中で、子ども自ら環境に働きかけ、子ども同士で関わり合い、また、保育士、教諭などの保育・幼児教育に携わる人と関わり合い、共に育ち合います。

子どもが安心できる園での生活・遊び・経験などが、子どもにとっての大切な成長・発達の場となります。観察項目では、すべてを網羅することはできませんが、大切にしたい内容として挙げています。

項目 1	施設環境や室内外の遊具等の物的環境	・室内空間、環境、構成、設備、遊具 ・屋内、屋外での粗大運動遊びの空間、遊具、設備
項目 2	生活全般、保健衛生、安全面などからみた環境	・安全管理、清潔、保健衛生 ・生活、食事、睡眠
項目 3	園児の体験や遊びの環境	・言葉、絵本、遊具、ごっこ遊び、表現活動 ・自然との関わり
項目 4	子ども同士の関わりや保育者など園児を取り巻く人的環境	・子どもの人権、多様性の受容、個別的な支援 ・保育者の適切な関わり、子ども同士の関わり ・家庭との連携 地域、社会との関わり

観察項目

項目1 施設環境や室内外の遊具等の物的環境

- (1) 心地良く過ごしやすい環境
- (2) 子どもが主体的に活動できる環境
- (3) 室内で身体を十分動かして充実感や満足感が得られる環境
- (4) 屋外で身体を十分動かして充実感や満足感が得られる環境

項目2 園児の生活全般・保健衛生・安全面などからみた環境

- (1) 子どもの安心・安全を確かなものにできる環境
- (2) 清潔で安心し、気持ちよく生活ができる環境清潔、保健衛生
- (3) 子どもが主体的に生活できる環境(3歳以上児)
一人一人の生活リズムを大切にしたい、子どもたちが主体的に生活できる環境(3歳未満児)

項目3 園児の体験や遊びの環境

- (1) 豊かな話し言葉を育む環境
- (2) 絵本の楽しさ、読んでもらう心地よさを味わう環境
- (3) 友だちと関わりながら遊ぶ環境
- (4) 文字、数に関心が持てる環境
- (5) イメージを形にして楽しみ、友だちと共有できる環境
- (6) さまざまな表現活動が自由に体験できる環境
- (7) 心地よい音楽に親しみ、表現を楽しむ環境
- (8) 自然を感じ、様々な体験の中で好奇心や探求心を育む環境

項目4 子ども同士の関わりや保育者など園児を取り巻く人的環境

- (1) 子どもの人権が尊重され、認められ、支えられる環境
- (2) 多様性を尊重する環境
- (3) 子ども一人一人の特性に応じて安心して過ごせる環境
- (4) 保育者の適切な働きかけ、見守り、関わり
- (5) 子ども自ら気づき、振り返り、友だちと興味関心を分かち合える環境
- (6) 子どもの育ちや内面を捉えた視点、理解、援助
- (7) 家庭との連携
- (8) 地域・社会に関心を持ち、関わりが持てる環境

5 観察の方法

1 使用する書式

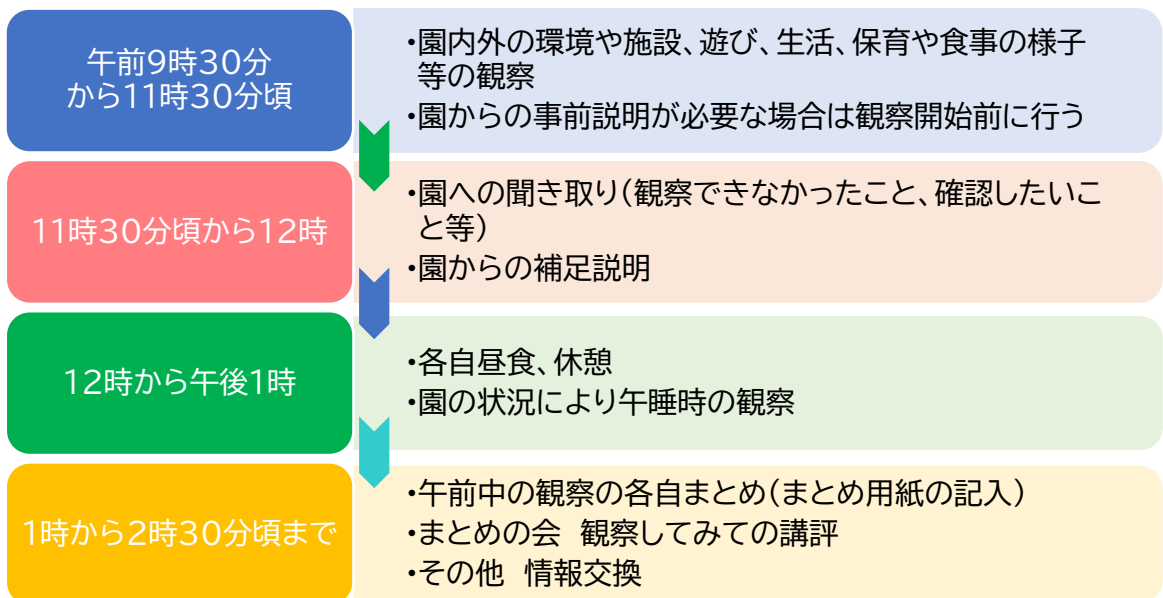
- (1) 保育環境まつもと指標チェックシート（観察園、観察者）
- (2) 園への事前調査用紙（観察園）
- (3) 観察のまとめ用紙（観察者）

*観察園・・・観察を受け入れる園

*観察者・・・園の観察を行う者

2 方法

- (1) 公立、私立、保育園、幼稚園、認定こども園の園長、代理等4人～5人を1グループとし、相互に観察を行ないます。
- (2) 観察園は、観察時間内では見ることができない項目や園として力を入れている点等、事前に「事前調査用紙」に記入し、前日までに観察者に配布します。
- (3) 観察者は、園内を観察し、各自で「保育環境まつもと指標チェックシート」及び「観察のまとめ用紙」に記入します。
- (4) まとめの会で、観察者、観察園職員で観察結果の報告と工夫や評価できる点、課題、改善点、感想等の講評を行います。
- (5) まとめの会で話し合われたことを中心に、後日、事務局より観察の結果をフィードバックします。
- (6) 観察園は、観察結果を確認し、職員間で話し合い、課題となる部分については、保育者及び園全体で共有し、質の向上に努めます。
- (7) 時間配分の目安



3 指標内容及び評価

以下の4つの視点別に、3歳以上児用83項目、3歳未満児用81項目の評価を行います。
判断基準は、それぞれの項目について次の5段階で評価します。

評価	評価の基準
5	保育環境として大変優れている (大変良い)
4	保育環境として優れている (良い)
3	保育環境として適切である。気になる部分は工夫や配慮でカバーされている (普通)
2	保育環境として少し不足している (気になる、少し不足)
1	保育環境として改善が必要である (かなり不足)

数値では測れないものもありますので、項目以外の気づきはコメント欄に表記します。

6 フィードバックについて

観察者からの数値と講評をまとめて観察園にフィードバックします。(数値は評価の平均です。)

「保育環境まつもと指標」フィードバックシート

実施日 令和5年7月30日 (日) 園名 ○○保育園 観察者 3名

項目1 施設環境や室内外の遊具等の物的環境

①心地良く過ごしやすい環境

評価項目	1	2	3	4	5
室内空間					
1 室内の適切な明るさ					5
2 室温が適切で過ごしやすい					4
3 園舎内外の保育者の声や、物音、放送等の音量、音質					4

②好きな遊びをじっくり取り組める環境

評価項目	1	2	3	4	5
室内環境					
4 車いすや歩行が困難な人の施設の使用しやすさ					2
5 室内のクラス人数に応じた十分な広さ					4
6 子どもの動線を考えた室内の配置					4

③子どもが主体的に活動できる環境

評価項目	1	2	3	4	5
7 室内の遊具の素材、耐久性、安全性					4

小学校との連携

評価項目	1	2	3	4	5
79 小学校と園との研修などの連携					4

地域とのかかわり

評価項目	1	2	3	4	5
80 保護者や地域への園の様子、取組みなどの情報発信					4
81 地域の人とのふれあい、行事への参加、世代間交流					4

地域の子育て支援

評価項目	1	2	3	4	5
82 未就園児親子と園との交流、園への理解促進					5
83 子育て支援としての情報交換や交流、相談支援					4

※4以上 2以下

※総評※

- ◆ 良い点、評価できる点、工夫が感じられる点等
- ◆ 気になった点、工夫や改善が必要と思われる点等

*短時間の観察時間ですので一部分を見ての評価となります。日々の保育が十分反映されているわけではありませんが、まとめの会で出された内容と個々の用紙に基づいて総評とさせていただきます。結果を踏まえて、子どもを取り巻く環境の改善に活かせるよう園内でご検討ください。

【3歳以上児用】 保育環境まつもと指標Ver.1 チェックシート (別紙1)

評価	評価の基準
5	保育環境として大変優れている (大変良い)
4	保育環境として優れている (良い)
3	保育環境として適切である、気になる部分は工夫や配慮でカバーされている (普通)
2	保育環境の工夫や配慮は見られるが、課題として検討又は改善の必要がある (気になる、少し不足)
1	保育環境として改善が必要である (かなり不足)

*午後のまとめの会終了後、チェックシートと観察者まとめ用紙をグループのリーダーに提出してください。

観察日 R 年 月 日 () 観察園名

観察者 (園名) 氏名

項目1 施設環境や室内外の遊具等の物的環境

望ましい環境	内容	達し No.	観察項目	評価					備考 (メモ)
				最適	良	適切	不足	改善	
①心地良く過ごしやすい環境									
室内空間	1	窓や天窓を通して自然の光が入ったり、照明を使用したりし、室内が明るい空間となっている	5	4	3	2	1		
	2	換気が配慮され、室温が適切で過ごしやすい	5	4	3	2	1		
	3	園舎内外では、保育者の声や、物音、オーディオ機器の音量、音質は適切である	5	4	3	2	1		
	4	車いすや歩行が困難な子どもや大人が施設を使用しやすい	5	4	3	2	1		
	5	室内は、クラス人数に応じて生活したり遊んだりするのに十分な広さがある	5	4	3	2	1		
②子どもが主体的に活動できる環境									
室内構成、遊具	6	室内では子どもの動線を考えて、使うものが配置されている	5	4	3	2	1		
	7	室内の遊具は素材や耐久性など安全性に配慮されている	5	4	3	2	1		
	8	個々の子どもの所持品がある場所は、混みあわずゆとりがある	5	4	3	2	1		
	9	壁面には、刺激過多にならない範囲で掲示が整理されている	5	4	3	2	1		
	10	遊具・教材・設備等が、子どもたちにとって使いやすく設置、準備されている (配置、使いやすさ)	5	4	3	2	1		
	11	遊具・教材の量が適切で整理されており、子どもたちにとって活動しやすい (量、整頓)	5	4	3	2	1		
	12	子どもの体格に合わせた机や椅子を使用し、座った時に足が床等につくようになっている (工夫されている)	5	4	3	2	1		
③室内で身体を十分動かして充実感や満足感が得られる環境									
屋内での粗大運動遊びの空間	13	ホール等は全園児が集まったり、遊んだりするときに十分な広さがある	5	4	3	2	1		
	14	静かな遊びと動きの多い遊びの場は、場所が離れているか場が区別されていて、妨げられずに遊ぶことができる	5	4	3	2	1		
④屋外で身体を十分動かして充実感や満足感が得られる環境									
屋外空間、遊具	15	屋外では、のびのびと身体を動かして遊ぶことができる広さがある	5	4	3	2	1		
	16	屋外では、大型設備の量が適切で、少なすぎたり、混みあったりせずに遊ぶことができる	5	4	3	2	1		
	17	屋外では、園児数に応じ遊具の量が適切で、自由に選んで使えるようになっている (遊具の量と質)	5	4	3	2	1		
	18	屋外では、子どもが使いやすく便利な設備や、収納がある	5	4	3	2	1		
	19	屋外には木、草花などの自然の中で遊ぶエリアがある	5	4	3	2	1		
	20	屋外では季節に応じて活動しやすくなっている (夏の木陰、日よけ、冬の陽ざし等)	5	4	3	2	1		

【自由メモ】 (観察終了後、まとめ用紙に記載してください)

◆ 良い点、評価できる点、工夫が感じられる点等

◆ 気になった点、工夫や改善が必要と思われる点等

◆ その他

項目2 園児の生活全般、保健衛生、安全面などからみた環境				評価					備考
望ましい環境	内容	通しNo.	観察項目	最適	良	適切	不足	改善	
①子どもの安心・安全を確かなものにできる環境									
安全管理	21	室内、トイレなどに、洗剤、消毒剤、清掃道具など危険なものは子どもの手の届くところに置かないなど適切に管理されている	5	4	3	2	1		
	22	保育者は、子どもの特性を理解し、危険予測をしながら、ケガにつながりそうなことを未然に防ぐ配慮をしている	5	4	3	2	1		
	23	園内外で保育者は、常にそれぞれの園児の様子に目を配り、全体の見守りの連携がとれている	5	4	3	2	1		
	24	子どもが安心して登園できるよう温かな受け入れを行っている(園で、通園バスで)	5	4	3	2	1		
	25	散歩や園外保育の時に、下見、人数把握、けが防止など安全に配慮している	5	4	3	2	1		
	26	定期的に安全点検を行っており、室内、屋外にはケガにつながりそうな危険箇所は見られない(管理)	5	4	3	2	1		
②清潔で安心し、気持ちよく生活ができる環境									
清潔 保健衛生	27	室内は安全性が確保されており、適度に清潔で、清掃が行き届いている	5	4	3	2	1		
	28	遊具や用具は定期的かつ必要に応じて消毒し、清潔が保たれている	5	4	3	2	1		
	29	トイレトーパーや石鹸が常に設置され、必要に応じて補充され、子どもが使いやすくなっている	5	4	3	2	1		
	30	手洗い場、トイレは不快な匂いなどがないように常に清潔が保たれている	5	4	3	2	1		
	31	食べる前に手洗いをしたり、テーブルを拭くなど衛生的な状態が保たれている	5	4	3	2	1		
③子どもが主体的に生活できる環境									
食事	32	食事では、食べることを強制したりせず、個々に応じて量の加減などの配慮している	5	4	3	2	1		
	33	子どもも大人も、和やかな雰囲気の中で食べている	5	4	3	2	1		
	34	保育者は、栽培した野菜や季節の食材に関心がもてるように働きかけたり、食を大事にする姿勢が感じられる	5	4	3	2	1		
	35	食事のマナーを年齢や発達に応じ、適切な言葉がけをしている	5	4	3	2	1		
排泄	36	トイレ、水道は混みあわずに使うことができる	5	4	3	2	1		
	37	保育者は一人一人の状態により、トイレに行くことを促したり、必要に応じ、自分からトイレに行けるよう配慮している	5	4	3	2	1		
睡眠	38	午睡時には衣類、寝具、室内などの衛生や換気、適切な室温が保たれている	5	4	3	2	1		
	39	保育者の温かな見守りの中、発達や個人差に合わせて適度な時間、安心して眠れるように配慮している	5	4	3	2	1		

【自由メモ】 (観察終了後、まとめ用紙に記載してください)

◆ 良い点、評価できる点、工夫が感じられる点等

◆ 気になった点、工夫や改善が必要と思われる点等

◆ その他

項目3 園児の体験や遊びの環境

望ましい環境	内容	通しNo.	観察項目	評価					備考
				最適	良	適切	不足	改善	
①豊かな話し言葉を育む環境									
	言葉等での表現	40	保育者は、言葉だけでなく、子どもの心情を理解し気持ちを受け止めている	5	4	3	2	1	
	語彙を広げる	41	生活や遊びの中で、子どもの気持ちを大切にしながら、場面や行動に応じて語彙の広がりを手助けしている	5	4	3	2	1	
②絵本の楽しさ、読んでもらう心地よさを味わう環境									
	絵本に親しむ	42	子どもが親しみやすい本や季節や興味、関心に応じた絵本が、見やすいように整理され、配置してある (質、量、配置)	5	4	3	2	1	
		43	子どもが絵本を自由に手に取りやすく、くつろいで絵本を見るスペースがある (スペース)	5	4	3	2	1	
		44	図書スペースがない場合、各クラスには年齢や人数に応じた冊数 (人数×4冊程度) が用意され整理されている (量、質、配置)	5	4	3	2	1	
		45	保育者による読み聞かせがほぼ毎日行われ、子どもたちが楽しみにしている様子が見られる	5	4	3	2	1	
		46	親子のふれあいの時間を大切に考え、家庭への絵本の貸し出しが行われている	5	4	3	2	1	
③友だちと関わりながら遊ぶ環境									
	遊具、ごっこ遊び	47	室内遊具、ごっこ遊びなどのコーナーが充実していて、子どもたちが自由に遊ぶことができる (スペース、量、種類)	5	4	3	2	1	
		48	クラス人数に応じた室内遊具の量があり、年齢に応じた内容の遊具が整えられている (遊具の量と種類)	5	4	3	2	1	
④文字、数に関心が持てる環境									
	遊びや生活の中の文字や数	49	遊びや生活の中で、年齢に応じて文字、数、量、形などに親しむ機会がある	5	4	3	2	1	
⑤イメージを形にして楽しみ、友だちと共有できる環境									
	年齢に応じたのびのびと描く経験	50	年齢に応じ、子どもがのびのびと描けるよう子どもの発想や気持ちを受け止めている	5	4	3	2	1	
		51	子どもたちが描いたり、作ったりした作品が展示されている	5	4	3	2	1	
⑥さまざまな表現活動が自由に体験できる環境									
	自分で考えたり、工夫したり、協力を得て、作ったりする経験	52	子どもが自分で考えたり、工夫して描いたり、作れるよう材料の準備がなされている	5	4	3	2	1	
		53	年齢に応じ、友だちと一緒に作ったり、考えたり、協力しながら遊びを楽しむ機会がある	5	4	3	2	1	
⑦心地よい音楽に親しみ、表現を楽しむ環境									
	うた、音楽などの表現遊び	54	歌や演奏を聞いたり、歌ったり、踊ったりし、音楽に親しむ環境がある	5	4	3	2	1	
		55	音楽家の演奏を聞いたり、さまざまな楽器の音色を聞いたり、親しむ機会がある	5	4	3	2	1	
⑧自然を感じ、様々な体験の中で好奇心や探求心を育む環境									
	自然との関わり	56	水、砂、土、葉、木の実など自然の素材で遊ぶ活動を取り入れている	5	4	3	2	1	
		57	植物の栽培や生き物の飼育に関心が持てる配置や活動がなされている	5	4	3	2	1	
		58	季節に応じた遊び、活動を取り入れている (水・プール、雪遊び等)	5	4	3	2	1	
		59	自然の中での活動や、自然や季節を感じる体験を多く取り入れている	5	4	3	2	1	
		60	周囲に自然が少ない場所でも、園内外で自然を感じる事ができる環境づくりが工夫されている	5	4	3	2	1	

【自由メモ】 (観察終了後、まとめ用紙に記載してください)

◆ 良い点、評価できる点、工夫が感じられる点等

◆ 気になった点、工夫や改善が必要と思われる点等

◆ その他

項目4 子ども同士の関わりや保育者など園児を取り巻く人的環境

望ましい環境	内容	通しNo.	観察項目	評価					備考
				最適	良	適切	不足	改善	
①子どもの人権が尊重され、認められ、支えられる環境									
子どもの人権に対する十分な配慮	61	保育者は、人種、年齢、性別で区別しないように配慮し、肯定的に捉えた言葉がけを行っている	5	4	3	2	1		
	62	保育の中で、多様な言語や文化に触れる活動がなされてる	5	4	3	2	1		
	63	排泄や嘔吐などがあった時に、子ども（当事者）の羞恥心や傷ついた気持ちに配慮している	5	4	3	2	1		
②多様性を尊重する環境									
多様性の受容	64	保育者は、障がいや発達について学び、理解した上で個々の状況に応じた経験ができるよう配慮されている	5	4	3	2	1		
	65	保育者は、特別な配慮や支援を必要とする子どももクラスの中で、「共に育つ」という意識を持った保育・教育をしている	5	4	3	2	1		
③子ども一人一人の特性に応じて安心して過ごせる環境									
個別的な支援	66	必要に応じ、安心して一人での遊びの場や落ち着く場所が確保されている	5	4	3	2	1		
	67	保育者は、一人一人の違いを認め合えるよう配慮している	5	4	3	2	1		
	68	保育者は、子どもの言葉にならない素振りや姿に敏感であり、場面に応じ適切な対応をしている	5	4	3	2	1		
④保育者の適切な働きかけ、見守り、関わり									
子どもの遊びを引き出す環境	69	保育者は、生活や遊びの中で、共感・励ましなどの対応をし、子どもの意欲を引き出す対応をしている	5	4	3	2	1		
	70	保育者は、子どもを不用意に待たせないよう見通しを持ちながら、保育の準備がしてある	5	4	3	2	1		
子どもの育ちや内面を捉えた視点、理解、援助	71	保育者は、声量、言葉がけの数が適切で、温かい言葉で声がけをしたり、見守っている	5	4	3	2	1		
	72	子どもが自分の気持ちを安心して表すことができるよう、温かなやり取りやスキンシップを心がけている。	5	4	3	2	1		
	73	保育者は、子どものふるまいに対し、否定的な言葉がけをしたり、怒ったりすることなく対応している	5	4	3	2	1		
⑤子ども自ら気づき、振り返り、友だちと興味関心を分かち合える環境									
子ども同士の人間関係が育つ関わり	74	保育者は、子ども同士のトラブルの場面では、危険のないように配慮しながら、子ども同士で解決できるよう援助している	5	4	3	2	1		
	75	子どもが葛藤や困難にであった時、保育者はすぐに指示をすることなく、子ども自身が問題を解決できるよう関わっている	5	4	3	2	1		
⑥家庭との連携									
保護者の子ども理解	76	それぞれの家庭と連絡を取りあい、子ども一人一人の様子などを伝え連携がはかれている	5	4	3	2	1		
	77	保育参加、保育参観を行い、保護者に普段の様子を見てもらい、園や職員、保育について理解を深めてもらう機会を設けている	5	4	3	2	1		
⑦地域・社会に関心を持ち、関わりが持てる環境									
小学校との連携	78	小学生と園児とが行事等で交流する機会がある	5	4	3	2	1		
	79	小学校と園の職員とで話し合う場や研修などの連携の機会がある	5	4	3	2	1		
地域との関わり	80	保護者や地域に園の様子、取り組み、子どもの様子などの情報を発信している。	5	4	3	2	1		
	81	地域の人とのふれあいや地域の行事への参加、世代間の交流を行っている	5	4	3	2	1		
地域の子育て支援	82	未就園児親子と園との交流の機会を作り、園への理解を深め、園を身近に感じてもらうよう努めている	5	4	3	2	1		
	83	子育て支援としての情報交換や交流、相談支援などを行っている	5	4	3	2	1		

【自由メモ】（観察終了後、まとめ用紙に記載してください）

◆ 良い点、評価できる点、工夫が感じられる点等

◆ 気になった点、工夫や改善が必要と思われる点等

◆ その他

【3歳未満児用】 保育環境まつもと指標Ver.1 チェックシート (別紙1)

評価	評価の基準
5	保育環境として大変優れている (大変良い)
4	保育環境として優れている (良い)
3	保育環境として適切である、気になる部分は工夫や配慮でカバーされている (普通)
2	保育環境の工夫や配慮は見られるが、課題として検討又は改善の必要がある(気になる、少し不足)
1	保育環境として改善が必要である (かなり不足)

*午後のまとめの会終了後、チェックシートと観察者まとめ用紙をグループのリーダーに提出してください。

観察日 R 年 月 日 () 観察園名

観察者 (園名) 氏名

項目1 施設環境や室内外の遊具等の物的環境

望ましい環境	内容	通しNo.	観察項目	評価					備考
				最適	良	適切	不足	改善	

【20230922】

①心地良く過ごしやすい環境

室内空間	1	窓や天窗を通して自然の光が入ったり、照明を使用したりし、室内が明るく、心地よい空間となっている	5	4	3	2	1	
	2	換気が配慮され、室温が適切ですぐしやすい	5	4	3	2	1	
	3	園舎内外では、保育者の声や、物音、オーディオ機器の音量、音質は適切である	5	4	3	2	1	
	4	ハイハイする子や歩き始めの子が、園舎内を無理なく自ら移動することができる	5	4	3	2	1	
	5	ハイハイする子、歩き始めの子、活発に歩く子などそれぞれが安心して過ごしたり、動ける広さがある	5	4	3	2	1	

②子どもが主体的に活動できる環境

室内構成、遊具	6	子どもが自分でやろうとするよう使うものが配置されたり、高さなどが配慮されている。	5	4	3	2	1	
	7	室内の遊具は素材や耐久性など安全性に配慮されている	5	4	3	2	1	
	8	遊びの場と生活する場や、子どもと大人の動きが交錯せずスムーズである	5	4	3	2	1	
	9	這ったり寝転んだりできる畳やマットなど、温かみがある場所、柔らかな素材のものがある	5	4	3	2	1	
	10	遊具を自分で出し入れしたり、使いやすく置かれている (配置、使いやすさ、整頓)	5	4	3	2	1	
	11	発達に適した遊具が置いてあり、子どもの興味関心が育つよう配慮されている (量、内容、種類、安全性)	5	4	3	2	1	
	12	子どもの体格に合わせた机や椅子を使用し、座った時に足が床等につくようになっている、または、工夫されている	5	4	3	2	1	

③室内で身体を十分動かして充実感や満足感が得られる環境

屋内での粗大運動遊びの空間、用具	13	ホール等は全園児が集まったり、遊んだりするときに十分な広さがある	5	4	3	2	1	
	14	静かな遊びと動きの多い遊びの場は、場所が離れているか場が区別されていて、妨げられずに遊ぶことができる	5	4	3	2	1	

④屋外で身体を十分動かして充実感や満足感が得られる環境

屋外空間、遊具	15	屋外でハイハイする子や歩き始めの子が、安心してのびのびと動き回ることができる広さや工夫がある	5	4	3	2	1	
	16	屋外で全身を使い、発達を促すための適切な遊具や環境が整っている	5	4	3	2	1	
	17	保育者は子どもと一緒に遊ぶ中で、様々な経験ができるよう配慮している	5	4	3	2	1	
	18	保育者は子どものやりたい気持ちを尊重しながら、安全に配慮し見守ったり、援助している	5	4	3	2	1	
	19	屋外には木、草花、芝生など自然を感じながら遊ぶエリアがある	5	4	3	2	1	
	20	屋外では季節に応じて活動しやすくなっている (夏の木陰、日よけ、冬の陽ざし等)	5	4	3	2	1	

【自由メモ】 (観察終了後、まとめ用紙に記載してください)

◆ 良い点、評価できる点、工夫が感じられる点等

◆ 気になった点、工夫や改善が必要と思われる点等

◆ その他

項目2 園児の生活全般、保健衛生、安全面などからみた環境

望ましい環境	内容	通し No.	観察項目	評価					備考
				最適	良	適切	不足	改善	
①子どもの安心・安全を確かなものにできる環境									
安全管理		21	室内、トイレなどに、洗剤、消毒剤、清掃道具など危険なものは子どもの手の届くところに置かないなど適切に管理されている	5	4	3	2	1	
		22	保育者は、子どもの特性を理解し、危険予測をしながら、ケガにつながりそうなことを未然に防ぐ配慮をしている	5	4	3	2	1	
		23	園内外で保育者は、常にそれぞれの園児の様子に目を配り、全体の見守りの連携がとれている	5	4	3	2	1	
		24	室内の遊具は小さかったり壊れやすいもの、危険な物、不衛生な物などは無く、安全面に配慮されている。	5	4	3	2	1	
		25	散歩や園外活動の時に、下見、人数把握、けが防止など安全に配慮している	5	4	3	2	1	
		26	定期的に安全点検を行っており、室内、屋外にはケガにつながりそうな危険箇所は見られない（管理）	5	4	3	2	1	
②清潔で安心し、気持ちよく生活ができる環境									
清潔 保健衛生		27	室内は安全性が確保されており、適度に清潔で、清掃が行き届いている	5	4	3	2	1	
		28	遊具や用具は定期的かつ必要に応じて消毒し、清潔が保たれている	5	4	3	2	1	
		29	トイレトーパーや石鹸が常に設置され、必要に応じて補充され、子どもが使いやすくなっている	5	4	3	2	1	
		30	手洗い場、トイレは不快な匂いなどが無いよう常に清潔が保たれている	5	4	3	2	1	
		31	衣類の汚れ、手洗い、鼻汁を拭くなどの衛生面や衣類調節など、常に配慮している	5	4	3	2	1	
		32	保育者は個々の状態により、トイレに行くことを促したり、自分からトイレに行けるよう配慮している	5	4	3	2	1	
③一人一人の生活リズムを大切にしたい、子どもが主体的に生活できる環境									
食事		33	必要以上に待たされたり、強制されることなく、食べたい気持ちが尊重されている	5	4	3	2	1	
		34	食事では、成長や発達段階に応じて量の加減、大きさ、硬さ等を配慮している	5	4	3	2	1	
		35	子どもも大人も、和やかな雰囲気の中で食べている	5	4	3	2	1	
		36	保育者は、自分で食べようとする意欲や行動を温かく見守り、必要に応じて手助けをしている	5	4	3	2	1	
排泄		37	トイレ、水道の高さは適切で、子どもが使いやすくなっている。	5	4	3	2	1	
		38	おむつ交換は人権に配慮しながら個別に衛生的に配慮され、温かな雰囲気の中で行われている	5	4	3	2	1	
睡眠		39	午睡時には衣類、寝具、室内などの衛生や換気、適切な室温が保たれている	5	4	3	2	1	
		40	一人一人の生活リズムを大切に、気持ちの安定を図りながら安心して眠れるように配慮している	5	4	3	2	1	
		41	保育者の温かな見守りの中、発達や個人差に合わせて適度な時間、安心して眠れるように配慮している	5	4	3	2	1	
		42	ブレスチェック等を行い、安全に配慮しながら見守りを行っている	5	4	3	2	1	

【自由メモ】（観察終了後、まとめ用紙に記載してください）

◆ 良い点、評価できる点、工夫が感じられる点等

◆ 気になった点、工夫や改善が必要と思われる点等

◆ その他

項目3 園児の体験や遊びの環境

望ましい環境	内容	通しNo.	観察項目	評価					備考
				最適	良	適切	不足	改善	
①豊かな話し言葉を育む環境									
気持ちを受け止め、語彙を広げる	43	保育者は、言葉だけでなく、子どもの心情を理解し気持ちを受け止めている	5	4	3	2	1		
	44	生活や遊びの中で、場面や行動に応じた応答的で適切な言葉がけをしている	5	4	3	2	1		
	45	子どもの表情や指差しに反応し、気持ちや興味関心を言葉で補いながら語彙の広がりを手助けしている	5	4	3	2	1		
②絵本の楽しさ、読んでもらう心地よさを味わう環境									
絵本に親しむ	46	子どもが親しみやすい本や季節や興味、関心に応じた絵本が、見やすいように整理され、配置してある（質、量、配置）	5	4	3	2	1		
	47	子どもが絵本を自由に手に取りやすく、くつろいで絵本を見るスペースがある	5	4	3	2	1		
	48	子どもが絵本に関心がある時、興味を広げるように読んであげたり、言葉をかけたり、共感したりしている	5	4	3	2	1		
	49	保育者による読み聞かせがほぼ毎日行われ、子どもたちが楽しみにしている様子が見られる	5	4	3	2	1		
	50	親子のふれあいの時間を大切に考え、家庭への絵本の貸し出しが行われている	5	4	3	2	1		
③好きな遊びを十分楽しむ環境									
遊び・ごっこ遊び	51	自分で好きな遊びを見つけ、夢中になって遊べるよう配慮されている	5	4	3	2	1		
	52	室内遊具や玩具は、ごっこ遊び・みたく・つもり遊びなどができるように充実している（スペース、量、種類）	5	4	3	2	1		
	53	保育者と一緒に遊ぶ中で楽しさを共有したり、保育者が仲立ちとなり、友だちと楽しさを共有することができる	5	4	3	2	1		
④さまざまな表現活動が自由に体験できる環境									
発達に応じたのびのびとした経験	54	発達に応じ、子どもがのびのびと描いたり作ったり壊したりできるように子どもの発想や気持ちを受け止めている	5	4	3	2	1		
	55	決められたようにやるのではなく、発達に応じ全身や指先を使って楽しみながら行った様子が作品に見られる	5	4	3	2	1		
⑤心地よい音楽に親しみ、表現を楽しむ環境									
うた、音楽などの表現遊び	56	発達に応じ、スピードや動きに配慮しながら指遊び、手遊びを楽しむ機会や環境が用意されている	5	4	3	2	1		
	57	歌や音楽に親しみながら、保育者と一緒に歌ったり、身体表現を楽しむ機会がある	5	4	3	2	1		
⑥自然を感じ、様々な体験の中で好奇心や探求心を育む環境									
自然との関わり	58	安全面に配慮しながら自然の素材で遊ぶ活動を取り入れている	5	4	3	2	1		
	59	室内からでも自然の事象、植物や生き物などを見たり、興味を持てるようにしている	5	4	3	2	1		
	60	自然の中での活動や、自然や季節を感じる遊び、体験を取り入れている	5	4	3	2	1		
	61	周囲に自然が少ない場所でも、園内外で自然を感じるができる環境づくりが工夫されている	5	4	3	2	1		

【自由メモ】（観察終了後、まとめ用紙に記載してください）

◆ 良い点、評価できる点、工夫が感じられる点等

◆ 気になった点、工夫や改善が必要と思われる点等

◆ その他

項目4 子ども同士の関わりや保育者など園児を取り巻く人的環境

望ましい環境	内容	通しNo.	観察項目	評価					備考
				最適	良	適切	不足	改善	
①子どもの人権が尊重され、認められ、支えられる環境									
子どもの人権に対する十分な配慮	62	保育者は、人種、年齢、性別で区別しないように配慮し、子どもの主体性を大切に言葉がけを行っている		5	4	3	2	1	
		保育者は衣類を脱がせたり、おむつ替えや鼻を拭く時などに、子どもの自尊心に配慮しながら声をかけている		5	4	3	2	1	
②多様性を尊重する環境									
多様性の受容	64	保育者は、発達や経験の有無などに配慮し、子どもの気持ちに寄り添いながら、声をかけたり、活動を促している		5	4	3	2	1	
③子ども一人一人の特性に応じて安心して過ごせる環境									
個別的な支援	65	必要に応じ、安心して一人での遊びの場や落ち着く場所が確保されている		5	4	3	2	1	
	66	泣いたり、欲求を知らせた時に、温かく受容的に関わり、信頼関係のもと、安心して過ごすことができている		5	4	3	2	1	
	67	保育者は、子どもの体の動きや表情、発声、喃語、気持ち等をやさしく受け止め、共感したり言葉にして返している		5	4	3	2	1	
④保育者の適切な働きかけ、見守り、関わり									
子どもの遊びを引き出す環境	68	保育者は、生活や遊びの中で、共感・励ましなどの対応をし、子どもの意欲を引き出す対応をしている		5	4	3	2	1	
	69	保育者は、生活や遊びの中で、子どもを不必要に待たせないよう見通しを持ちながら生活や遊びを進めている		5	4	3	2	1	
子どもの育ちや内面を捉えた視点、理解、援助	70	保育者は、声量、言葉がけの数が適切で、温かい言葉で声がけをしたり、見守っている		5	4	3	2	1	
	71	子どもが自分の気持ちを安心して表すことができるよう、温かなやり取りやスキンシップを心がけている。		5	4	3	2	1	
	72	保育者は、子どものふるまいに対し、否定的な言葉がけをしたり、感情的になることなく対応している		5	4	3	2	1	
⑤子ども自ら気づき、振り返り、友だちと興味関心を分かち合える環境									
子ども同士の人間関係が育つ関わり	73	子どもの気持ちを尊重し、場面に応じ、一人での遊びを十分楽しめるよう、見守ったり共感しながら周囲への関心を促している		5	4	3	2	1	
	74	保育者は、子どもの気持ちを尊重しながら、危険について知らせたり、他児の気持ちを伝える仲立ちとなっている		5	4	3	2	1	
	75	生活や遊びの中で、異年齢の子どもと関わりがある(内容、頻度等)		5	4	3	2	1	
⑥家庭との連携									
保護者の子ども理解	76	それぞれの家庭と連絡を取りあい、子ども一人一人の様子などを伝え連携がはかれている(手段、頻度等)		5	4	3	2	1	
	77	保育参加、保育参観を行い、保護者に普段の様子を見てもらい、園や保育についてや子ども理解を深める機会を設けている		5	4	3	2	1	
⑦地域・社会に関心を持ち、関わりが持てる環境									
地域との関わり	78	保護者や地域に園の様子、取り組み、子どもの様子などの情報を発信している(内容、頻度等)		5	4	3	2	1	
	79	地域の人とのふれあいや地域の行事への参加、世代間の交流を行っている(内容、頻度等)		5	4	3	2	1	
地域の子育て支援	80	未就園児親子と園との交流の機会を作り、園への理解を深め、園を身近に感じてもらうよう努めている(内容、頻度等)		5	4	3	2	1	
	81	子育て支援として情報提供や相談支援などを行っている(内容、頻度等)		5	4	3	2	1	

【自由メモ】 (観察終了後、まとめ用紙に記載してください)

◆ 良い点、評価できる点、工夫が感じられる点等

◆ 気になった点、工夫や改善が必要と思われる点等

◆ その他

8 松本市保育・幼児教育環境の評価指標検討会議委員名簿

<委員>

生田 恵津子	松本短期大学幼児保育学科教授（令和4, 5年度）
海野 暁光	認定こども園深志園長（令和4, 5年度）
岡野 尚子	認定こども園聖十字幼稚園長（令和4, 5年度）
中島 公子	松本青い鳥幼稚園長（令和4, 5年度）
鈴木 麻衣子	信学会松本こども園長(前 松本保育園)（令和4, 5年度）
加藤 久美子	松本市岡田保育園長（令和4年度）
中島 弥生	松本市さくら保育園長（令和5年度）
黒田 陽子	松本市本郷幼稚園長（令和4, 5年度）

<事務局>

青木 直美	松本市こども部長（令和4年度）
百瀬 由将	松本市こども部長（令和5年度）こども部保育課長（令和4年度）
原 正幸	松本市こども部保育課長（令和5年度）
斉藤 さゆり	松本市こども部保育課指導担当課長（令和4, 5年度）
萩原 良則	松本市こども部保育課長補佐（令和4, 5年度）
加藤 久美子	松本市こども部保育課長補佐（令和5年度）
市川 美千代	松本市こども部保育課保育専門指導員（令和4年度）
松本 久憲	松本市こども部保育課保育専門指導員（令和4, 5年度）

松本市保育・幼児教育環境の評価指標

「保育環境まつもと指標 Ver.1」(3歳以上児用)(3歳未満児用)」

発行日:令和5年10月

発行者:松本市こども部保育課

長野県松本市丸の内3-7

0263-34-3000

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/>